



森からはじまる未来をつくる はんのう森林プラットフォーム 令和5年度（2023年度）活動計画



はんのう森林プラットフォームとは

埼玉県飯能市は、関東平野と秩父山地が接する場所に位置し、市域の75%を森林が占めています。「江戸(東京)の西の川からくる木材」としてその名が付いた「西川材」は、隣接する日高市、毛呂山町、越生町にまたがる西川林業地の名産品で、平成21年(2009年)には地域ブランドとして商標登録されました。

江戸時代から現在に至るまで、飯能における主要な産業を担ってきた西川林業ですが、次世代を担う若い担い手の不足から、地域の森林整備や林業技術の継承に大きな課題を抱えています。

「はんのう森林プラットフォーム」はこれらの課題を解決するため、西川林業に携わる林業家や企業をサポートする持続可能な新しい枠組みを構築するプロジェクトです。

特に若年層を対象とした林業の学び舎「**はんのう森林みらい塾**」を開塾し、広報活動を強化して、地域の森林整備に関わるヒト、モノ、コトをつなぐ情報プラットフォーム化と、飯能森林文化のブランディング化を目指します。



はんのう森林みらい塾 について

9月開校予定、林業に関わる様々な分野から講師を招聘して講義を行う学び舎です。林業の「3K(きつい、汚い、危険)」のイメージを払拭し、「カッコいい」「可能性あふれる」「子どもたちがなりたい職業」としての林業の新しい「3K」な魅力を発信します。



初年度は週末1泊2日で林業を学べるコースを2~3回開催予定。当面は市内の森林関係イベント情報発信を中心に、市内で開催される多様なイベントの一元化を行い、将来的には西川林業に本気で携わる人材の発掘を目指します。NPO法人埼玉ハンノウ大学が運営を行います。

森からはじまる3つのテーマ

① 森でつながる

西川林業情報発信サイトの運営

森づくりの担い手育成と確保のため、ホームページやSNS、パンフレット等の印刷物による西川林業の広報活動を強化します。

「伊那谷フォレストカレッジ」を手本に、西川材・西川林業の魅力を発信するとともに、林業家と企業をつなぎサポートするプラットフォームづくりを進めます。



イメージ: 伊那谷フォレストカレッジHP

② 森ではたらく

“林業”をデザインするイベントの開催&運営

主に20代~40代を対象に、将来の林業家をめざす人向けの林業体験や、先進事例を学ぶ交流イベントを企画・運営・開催します。新たな視点から、森林と関わる働き方や新規事業、ライフスタイルなどを提案します。

【計画例】 ※名称・内容は検討中。

10月、11月、2月に3~4回開催予定。宿泊付き交流事業も検討中。

① 自伐型林業を体験!

「西川の森オリエンテーション」

② 森と関わるためのフィロソフィーを学ぶ

「はんのう森林ワーキングホリデー」

③ 森林ビジネスの専門家を招く

「森林起業のためのワークショップ」



③ 森でくわだてる

“森林”をデザインするイベントの開催&運営

西川材・西川林業に関する様々な交流イベントの企画・運営を行います。

地域の観光資源としての森林をアピールするだけでなく、林業とその他の業種や人をつなぐ新しい取り組みを提案し、新規事業の相談窓口としての役割を果たします。



西川林業事業体と新規プレイヤーとを 「つなげる」体制づくり